



平成29年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社 ミツバ
代表者名 代表取締役社長 長瀬 裕一
(コード番号 7280 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 武 信幸
(TEL 0277-52-0113)

平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び

通期業績予想の修正並びに特別損失の発生に関するお知らせ

平成29年5月10日に公表した平成30年3月期第2四半期累計(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年3月期通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績との差異(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 155,000	百万円 10,000	百万円 10,000	百万円 3,500	円 銭 78.20
今回実績(B)	163,045	6,891	7,667	△7,961	△177.87
増減額(B-A)	8,045	△3,108	△2,332	△11,461	
増減率(%)	5.2	△31.1	△23.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期第2四半期)	159,266	10,667	7,045	2,178	48.67

2. 通期の連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 320,000	百万円 23,000	百万円 23,000	百万円 7,000	円 銭 156.39
今回修正予想(B)	377,000	18,500	19,500	△6,000	△134.05
増減額(B-A)	57,000	△4,500	△3,500	△13,000	
増減率(%)	17.8	△19.6	△15.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	327,977	22,687	20,213	5,082	113.55

3. 第2四半期累計期間の個別業績予想値と実績との差異(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 70,000	百万円 1,000	百万円 2,500	百万円 500	円 銭 11.17
今回実績(B)	70,092	△1,852	4,720	△4,797	△107.19
増減額(B-A)	92	△2,852	2,220	△5,297	
増減率(%)	0.1	—	88.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期第2四半期)	67,922	△352	△182	△1,897	△42.39

4. 通期の個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 145,000	百万円 2,500	百万円 8,000	百万円 2,000	円 銭 44.68
今回修正予想(B)	144,000	△1,900	11,700	1,000	22.34
増減額(B-A)	△1,000	△4,400	3,700	△1,000	
増減率(%)	△0.7	—	46.3	△50.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	146,936	3,283	9,408	2,310	51.63

5. 差異及び修正の理由

当第2四半期の連結業績は、米州エリアで発生した品質不具合対応費用の計上と、原材料価格の高騰の影響により、当初の業績予想に対し、営業利益の段階で大幅に下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、集団民事訴訟が一部和解に合意したことにより、和解金を特別損失に計上いたしました。

通期の業績は、売上高は上期とほぼ同じ水準で推移するものと見込まれます。収益面は品質不具合対応費用の抑制に加え、内製化を中心としたコスト改善の推進を行います。また、平成30年3月期の連結決算につきましては、効率的な連結事業運営と経営判断の迅速化を目的として、海外連結子会社の決算期を親会社の決算期(3月期)に合わせます。通期連結業績予想には、決算期間を統一させるため、平成30年1月1日から3月31日の3ヶ月間の見通しを織込んだ予想となっております。3ヶ月影響は、売上高520億円、営業利益及び経常利益が26億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を織込んでおります。

6. 特別損失の発生のお知らせ

当社及び American Mitsuba Corporation は、集団民事訴訟の原告団の一部と和解金107億52百万円で合意し、当第2四半期の連結業績は、特別損失として過年度損失計上との差額分の和解金82億78百万円を計上いたしました。また、米国でのワイパーリコールの対応で22億49百万円を製品保証引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。